



濃南小学校 開校

今年3月、百四十二年という長い歴史に幕を閉じた鶴里小学校と曾木小学校。濃南小学校は、両校の統合により中馬街道が通る濃南の地に完成しました。市内での小学校の開校は、昭和56年の泉西小学校以来、34年ぶりとなります。

ぬくもりある木造校舎

自然豊かな地域の風景に調和したぬくもりのある木造校舎は、肥田川が流れる中庭をはさみ、濃南中学校と向かい合っています。子どもたちが一つの敷地の中で勉学に励み、グラウンドや体育館などを共に使い、小・中学校が手を携えて9年間を見通した教育を進める環境が整いました。

また、太陽の光が差し込む大きな窓や、とん



ワークスペース：各学年の教室の前にある、大きな窓から光が差し込む明るい空間です。窓は二重断熱構造で冬の寒さをしのぎます。

がり屋根が印象的な多目的棟は、図書コーナーを備え、読書スペースや全校一斉のランチルームになるほか、全校集会や子どもたちの放課後活動など多様に利用できます。これまでにない新しい施設が、子どもたちの豊かな心を育む場所になります。

この学び舎で、未来を担う子どもたちがたくましく育っていきます。

校章には両町のシンボル

鶴里町のホタルと曾木町の紅葉がデザインされた校章。濃南小学校の校旗にも校章が刺しゅうされています(左写真)。

2年掛けて校章のデザインを担当した濃南小学校建設協力委員会の伊藤敏明さんは、「校章のデザインは子どもたちから募集しました。その中から子どもたちに何度もアンケートを取り、最終的には『曾木町と鶴里町が一緒になるので2つの絵柄を組み合わせたい』という子どもたちの思いを尊重してこのデザインに決定しました」と話してくれました。



テラス：低学年と高学年の教室の間に位置するテラス。植物の観察や仲間との交流の場になります。



トイレ：清潔感が溢れるトイレと手洗い。風通しがよく、明るく目新しいデザインです。



渡り廊下：校舎の2階から体育館へ。体育館やグラウンド、プールは中学校と共用します。



昇降口・ピロティ：木製の靴箱が並び昇降口。ピロティになっており橋を渡って中学校へ行くことができます。エコスクールの取り組みとして、校舎の下に雨水を貯めるタンクを設置。手押しポンプで水を汲み上げて花壇の水やりなどに利用します。



多目的棟：全校一斉のランチルームになるワークルームや配膳室、図書コーナーを備える。棟内の26本の丸柱は、鶴里小学校の学校林として地域の方々の手によって大切に育てられたひのきの大木を使用しています。また、土壌蓄熱式の床暖房により冬でも暖かく活動することができます。



濃南小学校のノートは真っ白です。このノートの主役は子どもたち一人一人です。頑張ったことや、楽しい出来事について、にし、歴史を創っていききたいと思っています。同時に子どもたちの願いや夢をかなえてくれる濃南小学校でありたいと思います。

私も教職員一同、開校した濃南小学校で、児童とともに新たな校風と歴史を築いていくために全力を尽くす覚悟です。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



濃南小学校校長 石垣寿子さん

濃南小学校の児童85人は、新しい校舎で学校生活をスタートさせました。また、両校が統合



土岐市立濃南小学校
住所 鶴里町細野138番地
電話 52-1020

【事業概要】
延床面積 2,345㎡
工期 平成25年12月～平成27年2月
総事業費 8億7,413万1千円